

# 倉敷市における持続可能な公共交通を目指す取り組み

2024年11月12日 倉敷市地域公共交通会議資料  
両備ホールディングス株式会社  
下津井電鉄株式会社

## 1. 背景

コロナ禍をきっかけに公共交通を取り巻く状況は急激に変化しました。

- ・高速バス、貸切バスの収益に頼り地域交通を維持する、従来の路線バスのビジネスモデルの崩壊
- ・乗務員離れによる各社の運行能力の低下
- ・事業継続及び乗務員の待遇改善には運賃の見直しが避けて通れない状況
- ・交通事業者単体の努力でこれまで通りの交通ネットワークを維持していくのは困難

## 2. 今後の方向性

- ✓ 経営を健全化させ、交通ネットワークを維持するにはエリアでの事業者同士の協調ヘシフトが必要
- ✓ お客様を増やす努力、経営改善を事業者の努力で行いつつ、  
利用促進の制度・仕組み作りや路線の見直しといった大きな枠組みについては、  
倉敷市様はじめ地域の関係者の皆様方との合意形成、ご協力をいただきながら  
公共交通サービスを持続可能なものにしていきたい、と考えます。

# 4つの課題と取り組みたいこと（アイデア）

## サービス

### ・ サービスレベルの向上

- ✓ 事業者同士の連携
- ✓ 利用促進



- ① 定期券の共通乗車
- ② 時刻表の共通化
- ③ 案内窓口の共同化
- ④ 路線検索サービスの共通化
- ⑤ 共通の乗り放題チケット

## 事業運営

- ・ 車両の調達、更新
- ・ 乗務社員の確保



- ① 低環境負荷、バリアフリー対応車両への更新
- ② 採用プロモーション強化
- ③ 県外移住者向けPR

## インフラ

### ・ 倉敷駅バスターミナル

- ✓ バス会社毎に分かれた乗り場
- ✓ 乗り換えがわかりづらい現状



- ① 乗り場の見直し  
事業者別から方面別に
- ② わかりやすく目立ちやすい案内サインの導入

## 環境

### ・ 市内の交通渋滞

- ✓ バスの慢性的な遅延
- ✓ 市民の公共交通離れ



- ① 交通量の空間的分散の方策検討  
例：パークアンドライド  
ターゲット：大高、中島交差点 等
- ② 中心部と郊外駐車場を結ぶ路線の強化